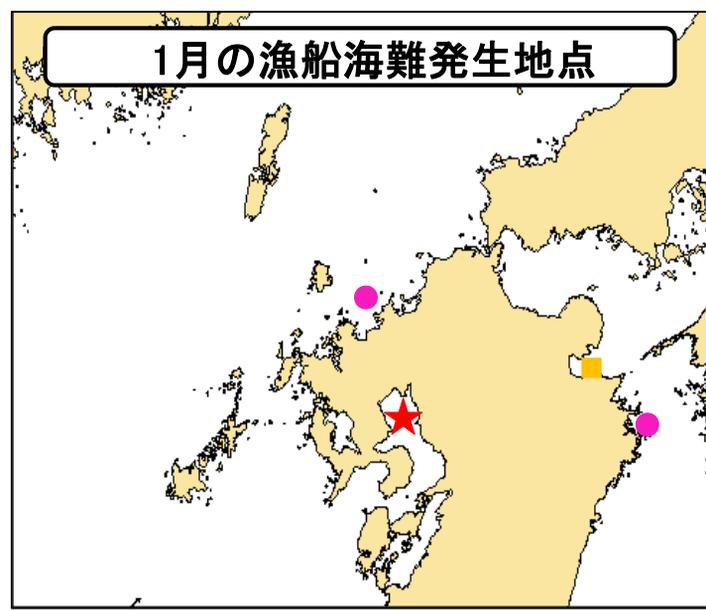


令和2年1月  
七管内漁船海難 計6隻

令和2年1月累計6隻(前年6隻)  
漁船海難発生累計件数は前年と同数

漁船海難隻数 (速報値)			県別内訳		
			1月	令和2年累計	
衝突	★	3	山口県 0	0 (1)	
運航不能 (機関故障)	●	2	福岡県 3	3 (2)	
運航不能 (舵障害)	■	1	佐賀県 1	1 (0)	
			長崎県 0	0 (1)	
			大分県 2	2 (2)	
合計 6 隻 (前年 6 隻)			合計 6隻	6隻 (6隻) ( )は昨年同月	



県別内訳表は、各県に所在する海上保安部署の担当海域にて発生した海難の合計数を示しています。数値は速報値です。

## 【行方不明事故発生】

<事故事例(機関故障)行方不明事故>

一人乗りのA丸は、養殖筏でエサやり作業を終えて帰港しようとしたところ、エンジンが起動せず漂流し、その後、海上荒天により流されたA丸は、陸岸に乘揚げました。船長は救命胴衣を着用しておらず、現在も行方不明です。



## 注意 船の整備は確実に！ 救命胴衣の着用を！

- ・洋上での機関故障等のトラブルは、長時間漂流し転覆や乗揚などの二次災害に繋がる恐れがあり大変危険です！
- ・出港前に**気象情報を入手**し、常に気象情報の変化に注意するとともに、万一の海中転落に備え、**救命胴衣を着用**しましょう。

